

18歳意識調査 「第13回 - 憲法 -」詳細版

日本財団 2019年4月25日

目次

調査概要	3		
憲法を身近に感じるか	5	憲法が73年間一度も改正されていないことについて	17
憲法の理念（前文）を知っているか	6	国会での憲法改正の議論を知っているか	18
国民主権を知っているか	7	憲法改正に関心があるか	19
基本的人権の尊重を知っているか	8	憲法改正に関心があるか 理由	21
平和主義を知っているか	9	憲法改正に国民投票が必要なことを知っているか	22
国民主権は今の社会で機能しているか	10	18歳から国民投票に参加できることを知っているか	23
国民主権は今の社会で機能しているか 理由	11	国民投票に行きたいか	24
基本的人権の尊重は今の社会で機能しているか	12	国民投票に行きたいか 理由	26
基本的人権の尊重は今の社会で機能しているか 理由	13		
平和主義は今の社会で機能しているか	14		
平和主義は今の社会で機能しているか 理由	15		
憲法が今の社会でより良く機能するために必要なこと	16		

調査概要「18歳意識調査」 - 憲法 -

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 1,000 ※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1,000

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2019年4月1日（月）～ 4月5日（金）

調査手法 インターネット調査

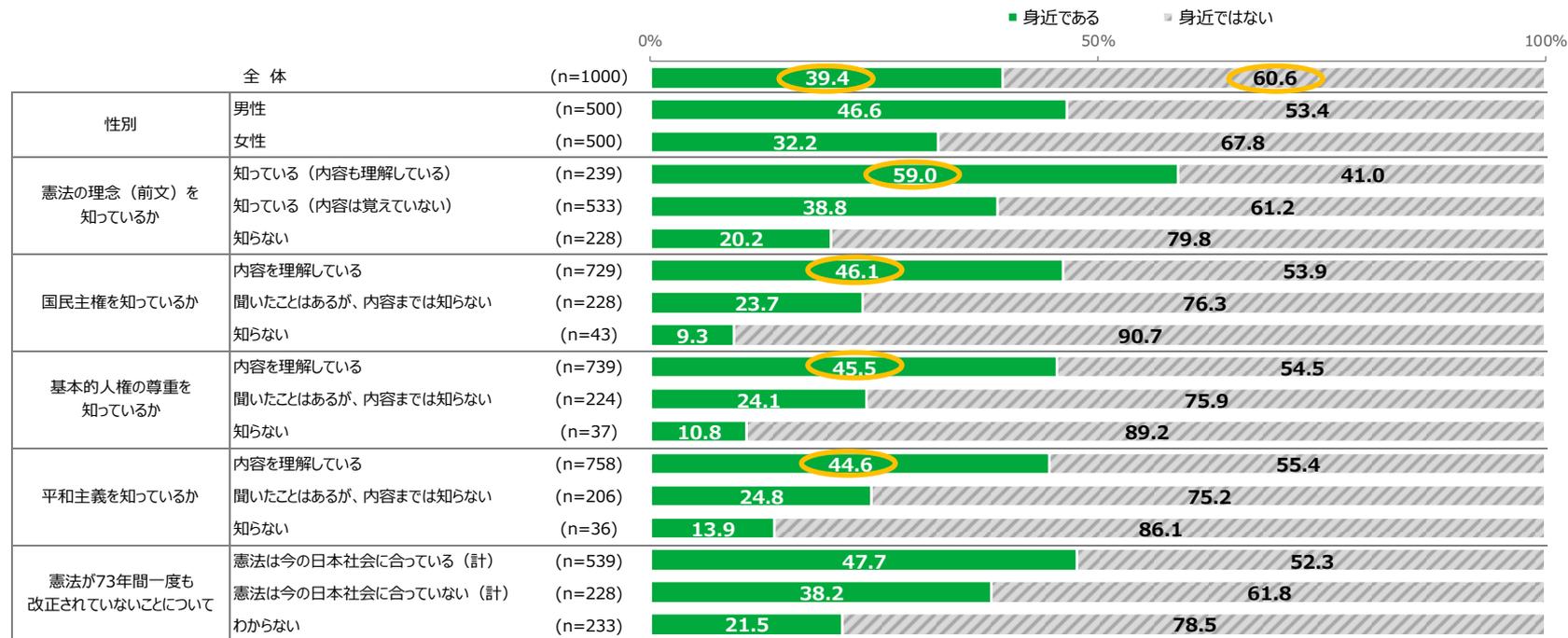
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

詳細

憲法を身近に感じるか

- 全体では、日本国憲法を「身近である」と感じるのは39.4%、「身近ではない」と感じるのは60.6%となっている。
- 憲法の理念（前文）を「知っている（内容も理解している）」人では、59.0%が身近に感じると回答しており、全体と比べて身近に感じる割合が高い。また、憲法の基本三原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の内容を理解している人についても、全体より憲法を身近に感じている人が多い。

Q1 あなたにとって日本国憲法は身近なものですか。



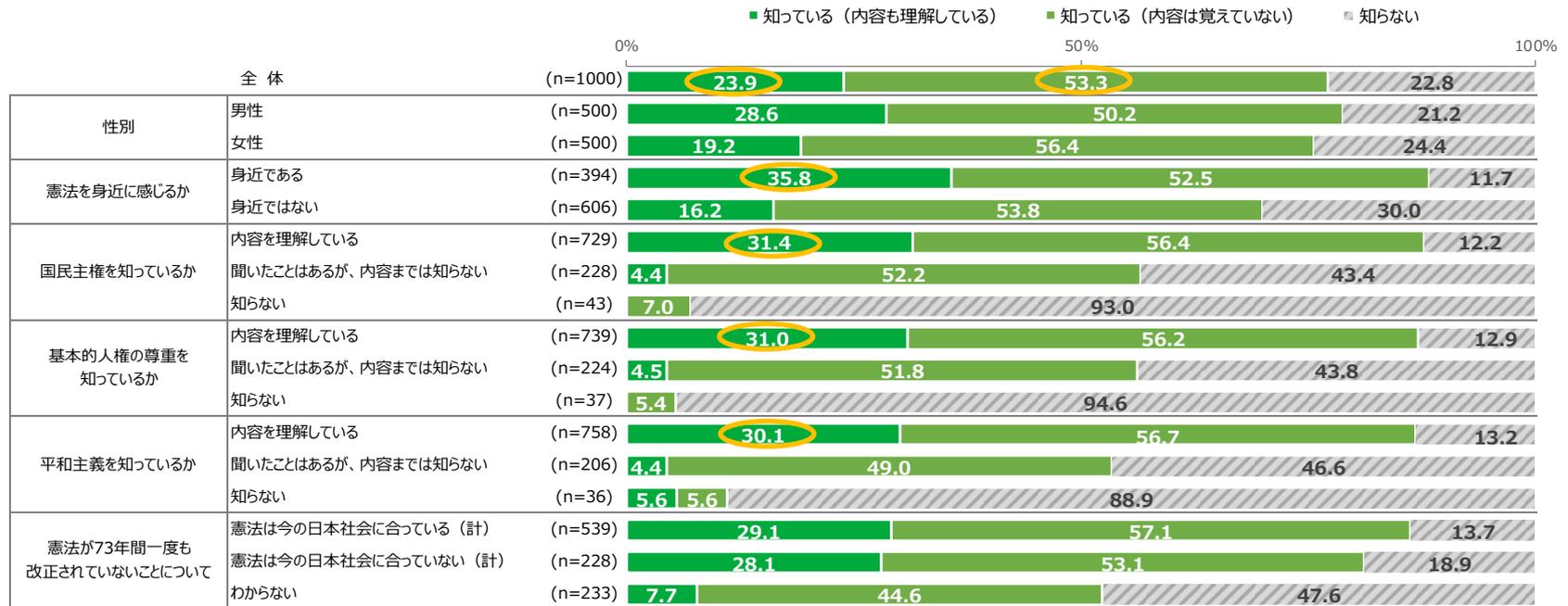
※Q9 憲法が73年間一度も改正されていないことについて

- ・「憲法は今の日本社会に合っている（計）」 = 「合っている」 + 「概ね合っている」
- ・「憲法は今の日本社会に合っていない（計）」 = 「合っていない面が多い」 + 「合っていない」

憲法の理念（前文）を知っているか

- 全体では、憲法の理念を「知っている（内容も理解している）」は23.9%、「知っている（内容は覚えていない）」は53.3%となっている。
- 全体と比較すると、憲法を「身近である」と感じている人は「知っている（内容も理解している）」が35.8%と高い。また、憲法の基本三原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について「内容を理解している」人では、いずれも全体より憲法の理念（前文）を「知っている（内容も理解している）」が高くなっている。

Q2 あなたは日本国憲法の理念（前文）を知っていますか。



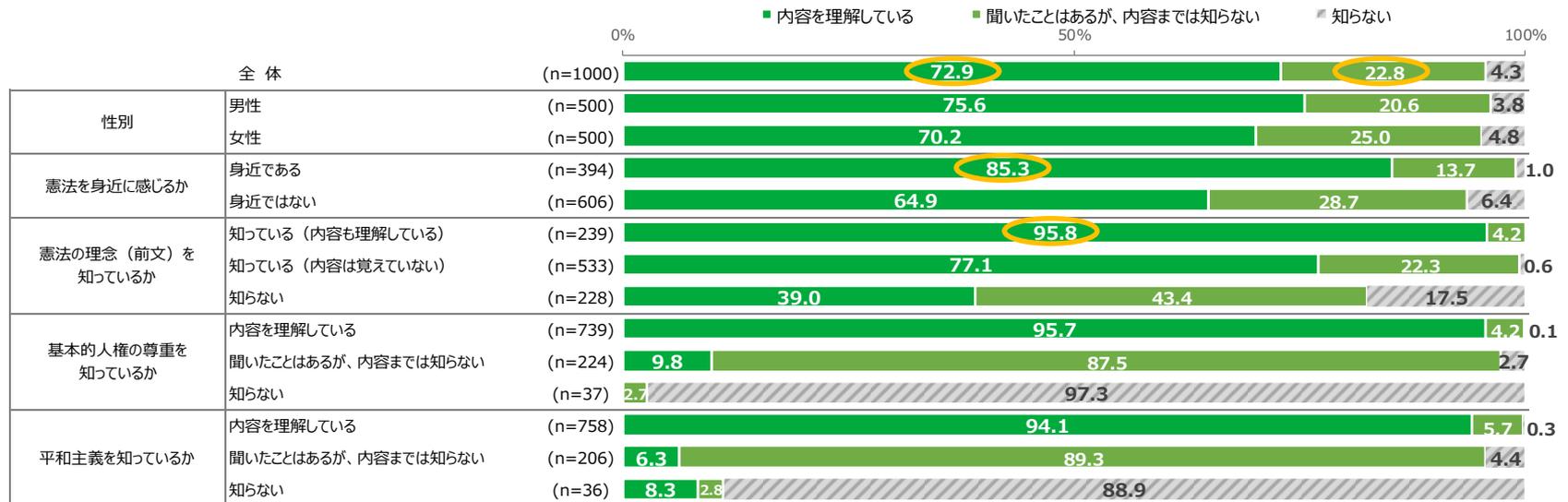
※Q9 憲法が73年間一度も改正されていないことについて

- 「憲法は今の日本社会に合っている（計）」 = 「合っている」 + 「概ね合っている」
- 「憲法は今の日本社会に合っていない（計）」 = 「合っていない面が多い」 + 「合っていない」

国民主権を知っているか

- 全体では、国民主権の「内容を理解している」は72.9%、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」は22.8%となっている。
- 全体と比較すると、憲法を「身近である」と感じている人は国民主権の「内容を理解している」が85.3%と高い。また、憲法の理念（前文）を「知っている（内容も理解している）」人も、国民主権の「内容を理解している」が95.8%と全体に比べ高くなっている。

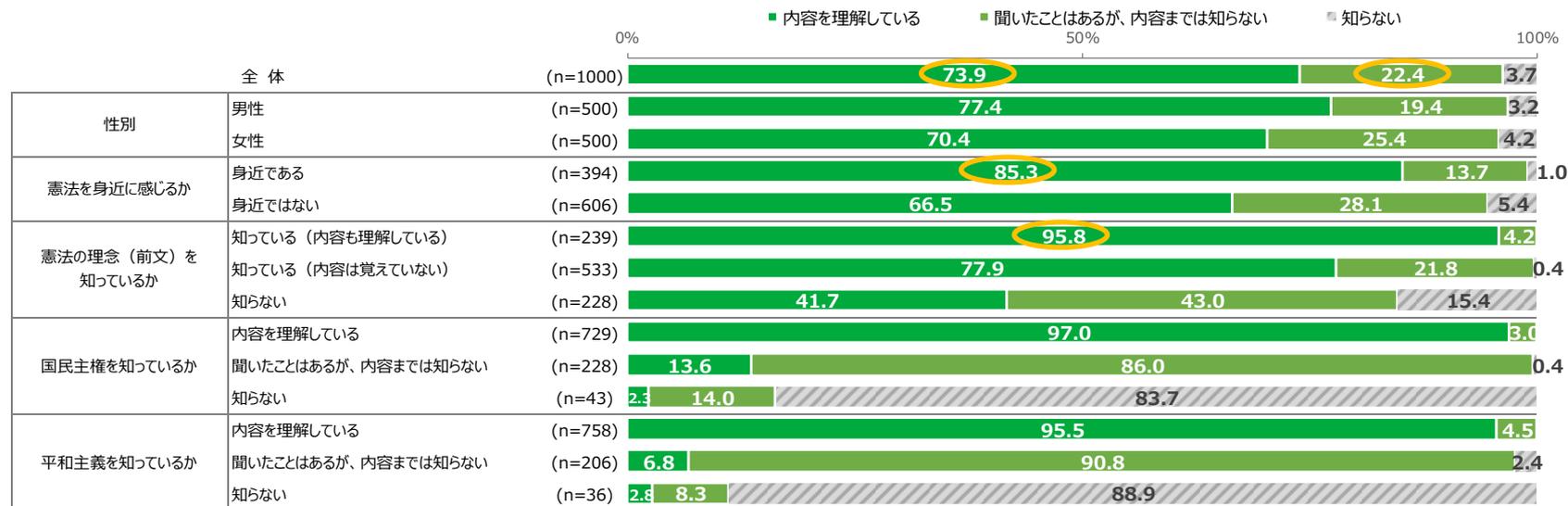
Q3 あなたは日本国憲法の「三原則」を知っていますか。（国民主権）



基本的人権の尊重を知っているか

- 全体では、基本的人権の尊重の「内容を理解している」は73.9%、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」は22.4%となっている。
- 全体と比較すると、憲法を「身近である」と感じている人は基本的人権の尊重の「内容を理解している」が85.3%と高い。また、憲法の理念（前文）を「知っている（内容も理解している）」人も、基本的人権の尊重の「内容を理解している」が95.8%と全体に比べ高くなっている。

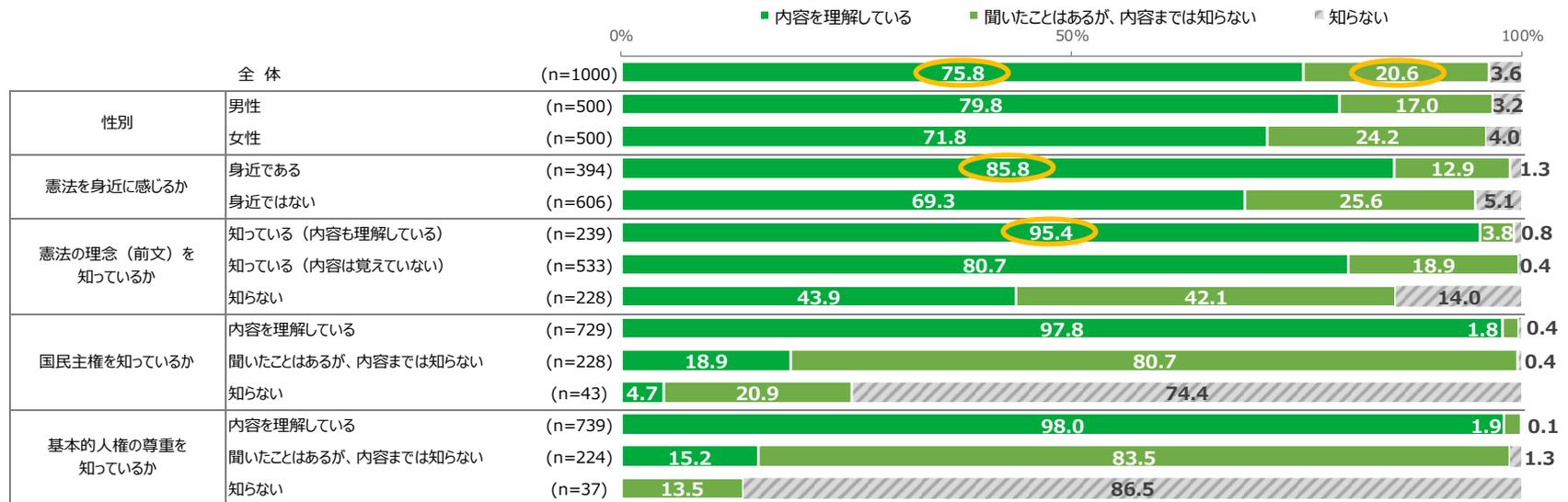
Q3 あなたは日本国憲法の「三原則」を知っていますか。（基本的人権の尊重）



平和主義を知っているか

- 全体では、平和主義の「内容を理解している」は75.8%、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」は20.6%となっている。
- 全体と比較すると、憲法を「身近である」と感じている人は平和主義の「内容を理解している」が85.8%と高い。また、憲法の理念（前文）を「知っている（内容も理解している）」人も、平和主義の「内容を理解している」が95.4%と全体に比べ高くなっている。

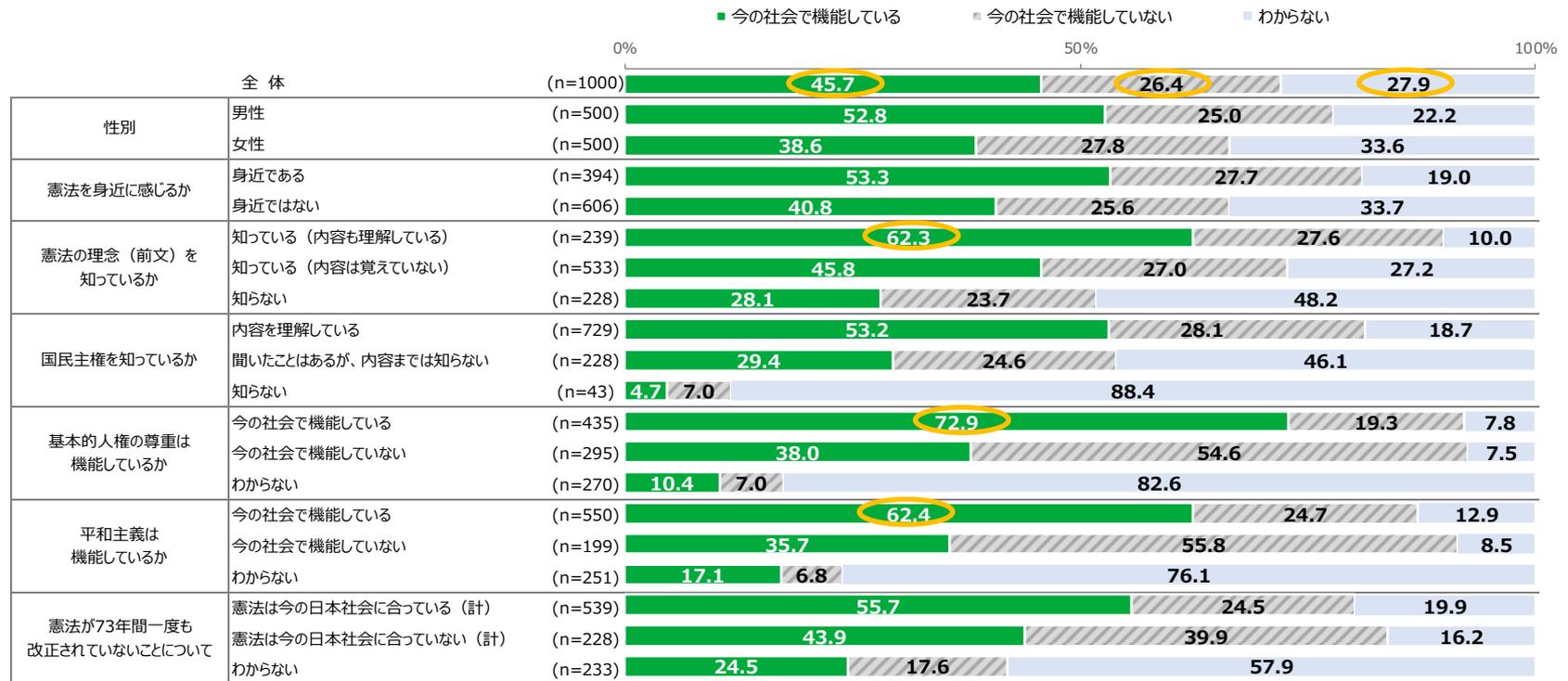
Q3 あなたは日本国憲法の「三原則」を知っていますか。（平和主義）



国民主権は今の社会で機能しているか

- 全体では、国民主権が「今の社会で機能している」は45.7%、「今の社会で機能していない」は26.4%、「わからない」は27.9%となっている。
- 憲法の理念を「知っている（内容も理解している）」人では、国民主権が「今の社会で機能している」とする割合が62.3%と高い。また、基本的人権の尊重や平和主義が「今の社会で機能している」とする人では、国民主権についても「今の社会で機能している」とする割合が全体と比べて高くなっている。

Q4 あなたは日本国憲法の「三原則」が、今の社会で“機能している”と思いますか。（国民主権）



※Q9 憲法が73年間一度も改正されていないことについて

- 「憲法は今の日本社会に合っている（計）」 = 「合っている」 + 「概ね合っている」
- 「憲法は今の日本社会に合っていない（計）」 = 「合っていない面が多い」 + 「合っていない」

国民主権は今の社会で機能しているか 理由

- 国民主権が今の社会で機能している理由としては、「選挙などにより国民の意志が反映されるから」や「しっかりと選挙が行われているし、独裁的な政治ではないから」など、選挙制度や選挙権があること、およびそれによって国民の意志が反映されていることなどがあげられている。
- 反対に、機能していないと考える理由については、「国民の声が直接反映できるようなシステムになってないから」や「国民の声を聞いているかもしれないが、それが反映されているとは言えないため」など、国民の意志が反映されにくい事とともに、「選挙権が与えられているにも関わらず投票率が非常に低く、政治への責任を果たしていない」など、国民の側の問題を指摘する意見も見られる。

Q5 国民主権に関してそのようにお答えになった理由を教えてください。（ご自由にお書きください）

機能している

国民の意見が反映されている

- 選挙などにより国民の意志が反映されるから。（女性）
- 国民に投票権があり、国民の意見が反映されていると思うから。（女性）
- 国民の声がメディアを通して届き世論として政府に影響を持っている。（女性）
- 選挙権では、投票可能な年齢が引き下げられたりして、より国民の意思が反映されるようになっていく。（男性）
- 国民の意見が他の国よりも出しやすい環境だと思う（男性）
- 国民の意見が与党がしっかりと反映しているから。ですが、待機児童問題など成果をあげて欲しい。（男性）
- 国民の考えを反映させようとしている。意見が沢山あり、考えが違うのが人だと思うので全て人を納得させる政治は出来ないと思う。今でもよく頑張っていると思う。（男性）

選挙制度がある

- 18歳以上のすべての国民が選挙権を持っているから。（女性）
- しっかりと選挙が行われているし、独裁的な政治ではないから。（男性）
- 独裁者が出てこないよう、選挙が正常に機能しているから。（男性）
- 一人一人に選挙権があり、国の方針などある程度は選ぶ権利が機能していると思うから。（女性）
- 各々が行くかはどうかは別として、政治に関わる選挙には参加することが出来るから。（女性）

間接民主制が機能している

- 国民が議員を選びその選ばれた議員は国民のために議論をしているため。（男性）
- 日本の政治において国民が間接選挙で選んだ代表が国会においてしっかりと話し合いをしている。よって、国民の意思がしっかりと政治に反映されていると感じるから。（女性）
- 国民の意思が政治家を通して国の運営に反映されている。（男性）

機能していない

国民の意見が反映されていない

- 国民の声が直接反映できるようなシステムになってないから。（男性）
- 国民の声を聞いているかもしれないが、それが反映されているとは言えないため。（女性）
- 国民の意見が正確に、平等に反映されているとは思わないから。例えば選挙も、政治家達は高い年齢層にいい事しか言わず、お年寄りも暇なため、投票も年齢層が高まる。若い意見が伝えられない環境にいる気がする。（女性）
- すべて国会の中で話し合いがされて、決定した、してないなどのニュースにしかならない。全国民の意見を尊重してない、できていない。（男性）
- 政府があまり国民の意見を聞かずに物事を進めている気がする（沖縄の辺野古など）。（女性）
- 間接民主政治だから仕方がないかもしれないけど、国民の意見はトップの政治家にはわからないと感じる。（男性）
- 何となく主権が国会に集まって市民の意見が反映されてない。（女性）

投票率が低い

- 選挙権が与えられているにも関わらず投票率が非常に低く、政治への責任を果たしていない。（男性）
- 国民がそもそも選挙に行かず、自分の意思を表明していないから、本当に国民主権と言えるのだろうかと思う。（女性）
- 仕方がないことなのかも知れないが、若者を中心に政治への関心が薄まっている。選挙の投票率も明らかに低く国民全体の意識の低下が現れていると思う。この意識の低さでは国民主権とは名ばかりになってしまうと考える。（男性）

選挙制度に問題がある

- 選挙システムが今の社会・国民性に対して最善ではないと思うから。（女性）
- 総理大臣を直接選べないから。（女性）

【国民主権は今の社会で機能しているか 理由「自由回答集」】

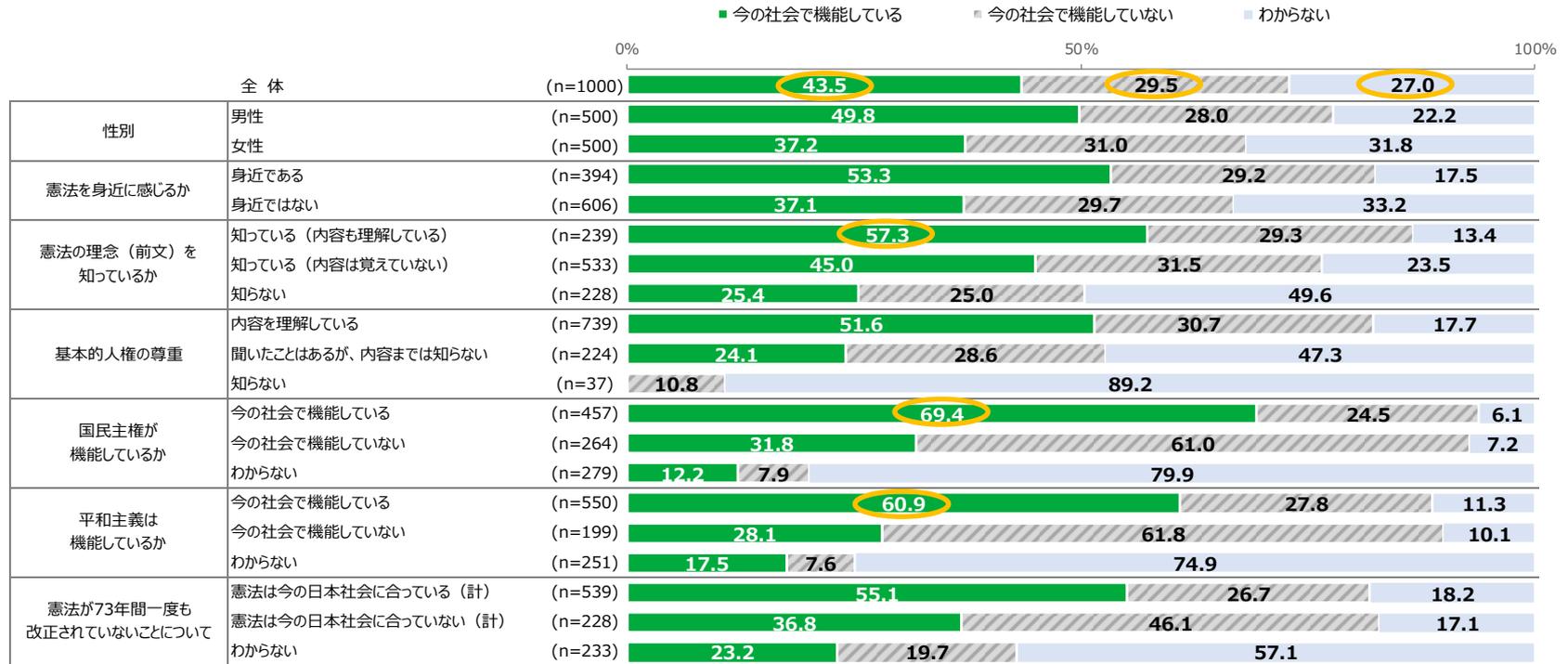
※自由回答は原文のまま記載

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

基本的人権の尊重は今の社会で機能しているか

- 全体では、基本的人権の尊重が「今の社会で機能している」は43.5%、「今の社会で機能していない」は29.5%、「わからない」は27.0%となっている。
- 憲法の理念を「知っている（内容も理解している）」人では、基本的人権の尊重が「今の社会で機能している」とする割合が57.3%と高い。また、国民主権や平和主義が「今の社会で機能している」とする人では、基本的人権の尊重についても「今の社会で機能している」とする割合が全体と比べて高くなっている。

Q4 あなたは日本国憲法の「三原則」が、今の社会で“機能している”と思いますか。（基本的人権の尊重）



※Q9 憲法が73年間一度も改正されていないことについて

- 「憲法は今の日本社会に合っている（計）」 = 「合っている」 + 「概ね合っている」
- 「憲法は今の日本社会に合っていない（計）」 = 「合っていない面が多い」 + 「合っていない」

基本的人権の尊重は今の社会で機能しているか 理由

- 基本的人権の尊重が今の社会で機能している理由としては、「人権を意識した活動や教育を推進する動きがあるから」や「人権問題について最近議論が進んできて、尊重しようとする傾向になってきており、機能してる」、「弱者の保護など、発展途上ではあるが支援制度があるから」などの意見が見られる。
- 反対に、機能していないと考える理由については、「どうしても女性に対する差別、区別意識がこの国には残っていると感じるし、社会的なマイノリティに対しても不寛容な印象を受ける」や「性的マイノリティにあまりやさしくない(女性)」など、女性差別やLGBTに関する懸念があげられている。また、労働環境の悪さや、差別・不平等、いじめ・虐待、各種のハラスメント等についても言及されている。

Q6 基本的人権の尊重に関してそのようにお答えになった理由を教えてください。(ご自由にお書きください)

機能している

人権が守られている

- 人権を意識した活動や教育を推進する動きがあるから。(男性)
- 人権問題について最近議論が進んできて、尊重しようとする傾向になってきており、機能してる。(男性)
- 憲法に記載されていて、個人の人権を重要視している印象が受けられるから。(男性)
- 国民一人ひとりの人権がしっかりと守られている、と感じる政治を行なっているから。(男性)
- 人権が尊重されていないという訴えが認められ改善されることがほとんどだから。(男性)

社会的弱者への支援がなされている

- 弱者の保護など、発展途上ではあるが支援制度があるから。(男性)
- 福祉等で、色々な境遇の人々にも生きやすい社会を作ろうという意向が見受けられ、現にそれを実現できていると思うから。(男性)
- 社会的に不利な状態の人でも最低限の生活ができるようにきちんと支援ができるようになっているから。(女性)

男女平等が進んでいる

- 完璧とはいえないが男女での格差もなくなりかけていると思うため(女性)
- 少しずつであるが、男女平等な社会になってきているから(女性)
- 女性の人権も尊重されるようになったから。(男性)

LGBTに対する理解が進んでいる

- 全てが平等といかないまでも、平成の間で福祉に対する平等やLGBTに対する理解などは深まっていると思うから。(女性)
- 現代ではLGBTなども理解されてきている。(男性)

【基本的人権の尊重は今の社会で機能しているか 理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

機能していない

女性に対する差別がある

- どうしても女性に対する差別、区別意識がこの国には残っていると感じるし、社会的なマイノリティに対しても不寛容な印象を受ける。(男性)
- 男尊女卑、女性に対して性犯罪などの不起訴等が多すぎる。(女性)

LGBTに対する差別がある

- LGBTなどの不理解など、度々思う。(女性)
- 性的マイノリティにあまりやさしくない(女性)

職場での人権侵害やハラスメントがある

- 基本的人権が尊重される社会であればブラック企業は存在しない筈だから。(男性)
- 仕事でのパワハラなどのニュースをよく聞くから。(女性)
- いくつかの企業での労働者の自殺や暴言等の問題が起こり、いまだに根強く人物というもの尊重していない人たちがいるのだと感じたから。(男性)

いじめや虐待がある

- 今の社会にいじめというものが存在しているから。いじめが存在している限り基本的人権の尊重が機能することはないと思う。(男性)
- 児童虐待などの残酷なニュースを見た時に人権が守られていないと感じたため。(女性)

経済的な格差がある

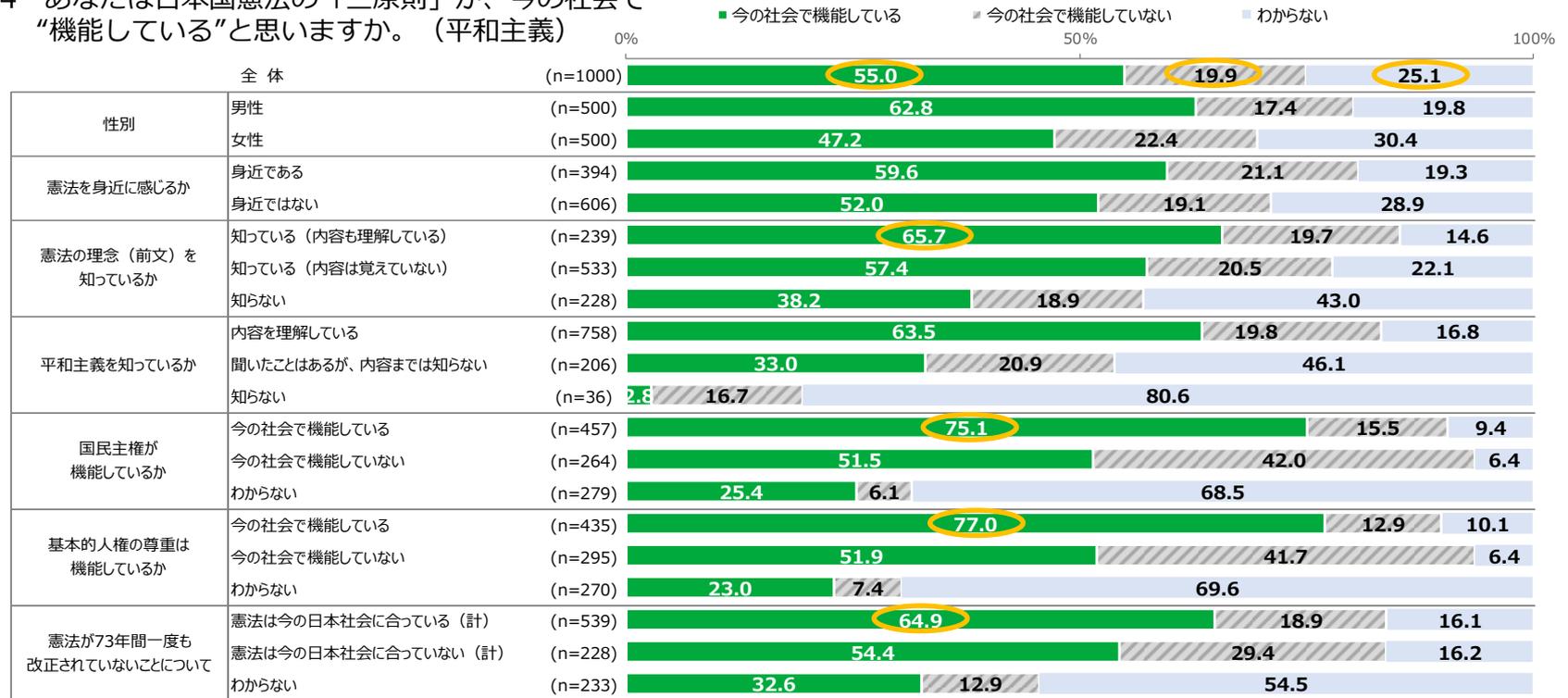
- 基本的人権の尊重と言っておきながら、今も尚差別は減ることは無いし、格差だって目に見えるように感じる人が多い。障害を持った人への配慮や、今1番必要とされている保育所・介護・農業の手当が一切なされていない点からも、経済的な人権の尊重がなっていないことの表れととって過言ではないと考える。(男性)
- 貧富の差が激しい。(男性)

※自由回答は原文のまま記載

平和主義は今の社会で機能しているか

- 全体では、平和主義が「今の社会で機能している」は55.0%、「今の社会で機能していない」は19.9%、「わからない」は25.1%となっている。
- 憲法の理念を「知っている（内容も理解している）」人では、平和主義が「今の社会で機能している」とする割合が65.7%と高い。また、国民主権や基本的人権の尊重が「今の社会で機能している」とする人では、平和主義についても「今の社会で機能している」とする割合が全体と比べて高くなっている。
- 憲法が73年間一度も改正されていないことについて、憲法は今の日本社会に「合っている」とする人は、「合っていない」とする人に比べて、平和主義が「今の社会で機能している」と考える割合が64.9%と高い。

Q4 あなたは日本国憲法の「三原則」が、今の社会で“機能している”と思いますか。（平和主義）



※Q9 憲法が73年間一度も改正されていないことについて

・「憲法は今の日本社会に合っている（計）」 = 「合っている」 + 「概ね合っている」 / 「憲法は今の日本社会に合っていない（計）」 = 「合っていない面が多い」 + 「合っていない」

平和主義は今の社会で機能しているか 理由

- 平和主義が今の社会で機能している理由としては、「少なくとも戦後から今まで他国との戦争は行われていないから」など、第二次大戦以降、日本で戦争が起きていないという事があげられている。また、「日本は憲法で規定された範囲内で自衛隊の活動を行なっていると思うから」など、自衛隊の活動も憲法に基づいたものになっているとする意見がある。
- 反対に、平和主義が機能していないと考える理由については、「憲法9条の改正をすすめているから」「自衛隊は戦力であり、平和維持どころか戦争の原因になりかねないと思うから」「中国や韓国など近隣諸国との関係が悪化していると思うから」などの意見が出されている。

Q7 平和主義に関してそのようにお答えになった理由を教えてください。（ご自由にお書きください）

機能している

第二次世界大戦以降は日本では戦争がない

- 少なくとも戦後から今まで他国との戦争は行われていないから。（男性）
- 北朝鮮やアメリカ、韓国などの国家間の関係が危ういが、第二次世界大戦以降の大きな戦争は日本では起きていないと思うから。（女性）
- 戦争がないし、戦争を起こさないように日本国が他国との関係を良いものに維持しているから。（男性）
- 世界的にみて本当に戦争の一切ないことは誇れることだと思うから。（女性）
- 現状戦争に巻き込まれてはならず、また核も保有していないため安心して生活できているから。（男性）

憲法9条とそれに則った自衛隊の活動

- 日本は憲法で規定された範囲内で自衛隊の活動を行なっていると思うから。（男性）
- 戦争の禁止を明示する憲法9条、および本格的な戦争遂行能力を有さない自衛隊の(必要最小限度の)実力。（男性）
- 憲法第9条の機能により戦争のない平和な世の中があるから。（女性）
- 自衛隊の海外派遣はあったものの戦争には、干渉していないため。（男性）

平和主義の定着

- 一部解釈が変わることはあっても、根本の諸外国に対する日本の平和への姿勢は揺らいでいないから。（男性）
- 戦争の放棄または交戦権の否定など戦争について固く行わない意志を示しているから。（女性）
- 非核三原則など、国民にも平和主義が浸透しているから。学校でもそのような教育がされているから。（女性）
- 戦争について言い伝えたり、他の国とも親交を深めようとしているから。（女性）

機能していない

憲法9条改正の動き

- 憲法9条の改正をすすめているから。（男性）
- 憲法改正など平和ではなくなるかもしれないから。（女性）
- 今も憲法で問題になっているし、9条改正でこれからどうなっているか分からないから。（女性）
- 憲法改正や安保条約、自衛隊についての問題が議論されているから。（女性）

自衛隊の存在や集団的自衛権

- 自衛隊は戦力であり、平和維持どころか戦争の原因になりかねないと思うから。（男性）
- 自衛隊の存在や、集団的自衛権を認めているところからして、軍隊の不保持とは言えないと感じるから。ただ、防衛のために軍が必要という考えももっともだと思う。（女性）
- 集団的自衛権がきまって戦争を起こしやすい環境になってしまったから。（女性）
- 日本をどのように平和な体制にするか、左右の両勢力は真剣に考えていない。例えば、交戦権と自衛権の明記するや、自衛隊の憲法への明記。さらに、自衛隊が現行憲法に違反しているのは事実であり、この状態をどのように解消するかよく議論できていないから。（男性）

国際情勢の変化

- 中国や韓国など、近隣諸国との関係が悪化していると思うから。（女性）
- 北朝鮮問題、韓国問題、ロシア問題等々日本を囲む国々との国交が上手くいっていないこと。そして、憲法第9条を躍起になって変えようとしている政府の動き。（女性）

平和主義を世界に発信していない

- 本当に平和であるなら、いじめや自殺は起きないと思う。もっときちんと平和についての教育や痛みについての学習をするべき。それに平和主義を通してた世の中もまた戦争に関わろうとしていて、あからさまに外れてきている。平和主義を国として通したいなら、日本からでも戦争は良くない、やめまじょうを他国に配信していかないといけないといけない。世界が戦争をやめてないのに自分達だけと言うのは巻き込まれるリスクとかも考えて無理なことであるから。（女性）

【平和主義は今の社会で機能しているか 理由「自由回答集」】

※自由回答は原文のまま記載

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

憲法が今の社会でより良く機能するために必要なこと

- ・日本国憲法が今の社会でよりよく機能するためには、「国民の間で意見を交わす機会を多くして民意を反映させる仕組みを作り維持していくこと」や「学校教育で憲法について学ぶ機会を増やす。憲法の役割を知ることができるから」等のように、国民が憲法と広く、深く接することができるようにすることの重要性があげられている。
- ・また、憲法の今後のあり方については「もっと時代によりよく対応出来るように、積極的に改善していくべき」や「現時点でより機能するようになってきていると感じるためこのままで問題ない」などの意見があった。

Q8 日本国憲法が今の社会でよりよく機能するためには、どのようにすればよいと考えますか。その理由を教えてください。（ご自由にお書きください）

国民の意見を反映させる

- ・国民の間で意見を交わす機会を多くして民意を反映させる仕組みを作り維持していくこと。（男性）
- ・政府がもっと国民の声に耳を向けて、具体案を国民とともに出していくべき。（男性）
- ・もっと国民の声に耳を傾けるべき、若い人の声をいかにとりいれるかが今後大切になっていくと思う。（女性）
- ・ツイッターなどを見ることで、国民の声をもっと直に聞いて政治に反映するべきだと思う。（女性）

学校での憲法教育を充実する

- ・学校教育で憲法について学ぶ機会を増やす。憲法の役割を知ることができるから。（女性）
- ・日本国憲法は何よりも尊いものであると子供達に教育する機会を設け、必要があれば時代に即した憲法に改憲出来るような柔軟性を持たせる。（男性）
- ・まず国民全員が日本国憲法を理解するために義務教育過程から学習の場を用いることが大切だと思う。また今の社会に合わせて古い条文などを訂正する必要があると思う。（男性）
- ・学校教育などによって、日本国憲法を十分に理解する機会を与え、一人一人に関心を持たせること。（男性）
- ・義務教育段階で、問題発見、解決能力を身につけた人材の育成に努め、一人一人に考える力を与える。また、憲法に触れる機会を増やすため、授業に取り入れ、身近なところと関連づける。（女性）

憲法をよく理解する

- ・まず大人が理解すべき、親に聞いても社会科以外の先生に聞いてもちゃんと教えてくれない。自分で調べた方が早い大人が理解しないと子供としては必要じゃないんだ、と思う。（女性）
- ・憲法と聞くと堅く難しく感じてしまい、憲法を知ることから遠ざかっていきそう。まずは、憲法をソフトな形で国民が知ること大事だと思う。知ることさらに機能して行くと思う。（女性）
- ・国民に日本国憲法についてもっとよく知ってもらわなければならない。そして、国民一人一人がそれに対して意見を持つことが、日本国憲法を正しく機能させる一番良い方法だと思う。（女性）

時代に合わせて憲法を改正すべき

- ・もっと時代によりよく対応出来るように、積極的に改善していくべき。（男性）
- ・今の時代に適応させる。何十年も経ってテクノロジーも進化しているのに国が国であるための憲法が変わらないのは少しおかしいしもっと柔軟であるべきだと思う。（女性）
- ・時代に合った改正をする。改正のために憲法への監視の目がつよくなって有効性の実証がなされるから。（男性）
- ・70年も前にできた憲法だから、改正が必要な点もあると思う。しかし、生かすところはきちんと活かして欲しい。夫婦別姓や同性婚など憲法に基づいて審議すべき問題が山積みだと思う。（女性）
- ・憲法改正に臆病にならずに、社会が移り変わる度に柔軟に改正していくべき。（男性）
- ・一度改憲をすることで、より現代社会に馴染むものにする。また、改憲をすることで、普段憲法に全く興味がない国民にも、日本国憲法という国の最高法規を考え直すきっかけになると思うから。（女性）
- ・良いことは踏襲して、時代に合わないところは変更。しかし慎重に慎重を重ねた上で改憲を行うべき。（男性）
- ・時代の変化、国と国との関係も変わっていくなかで今まで全く憲法改正が行われていないこと問題。臨機応変な対応が必要。（女性）
- ・憲法はルールなので、現代にあったルール作りをして欲しい。（男性）

今の憲法を維持すべき

- ・現時点でより機能するようになってきていると感じるためこのままで問題ない。（男性）
- ・現段階ではなにも損傷なく運用されているので逆に何も手を加えないことによって良い社会が維持されると考える（男性）
- ・今の憲法でいいと思います。このまま平和な日本であってほしいです。（男性）
- ・憲法は変えるべきではないと思う。日本の神聖なる憲法に誇りを持つことが何よりも大切であると思う（男性）
- ・憲法第9条を大切にしてほしいです。（女性）

【日本国憲法がよりよく機能するためには 理由「自由回答集」】

※自由回答は原文のまま記載

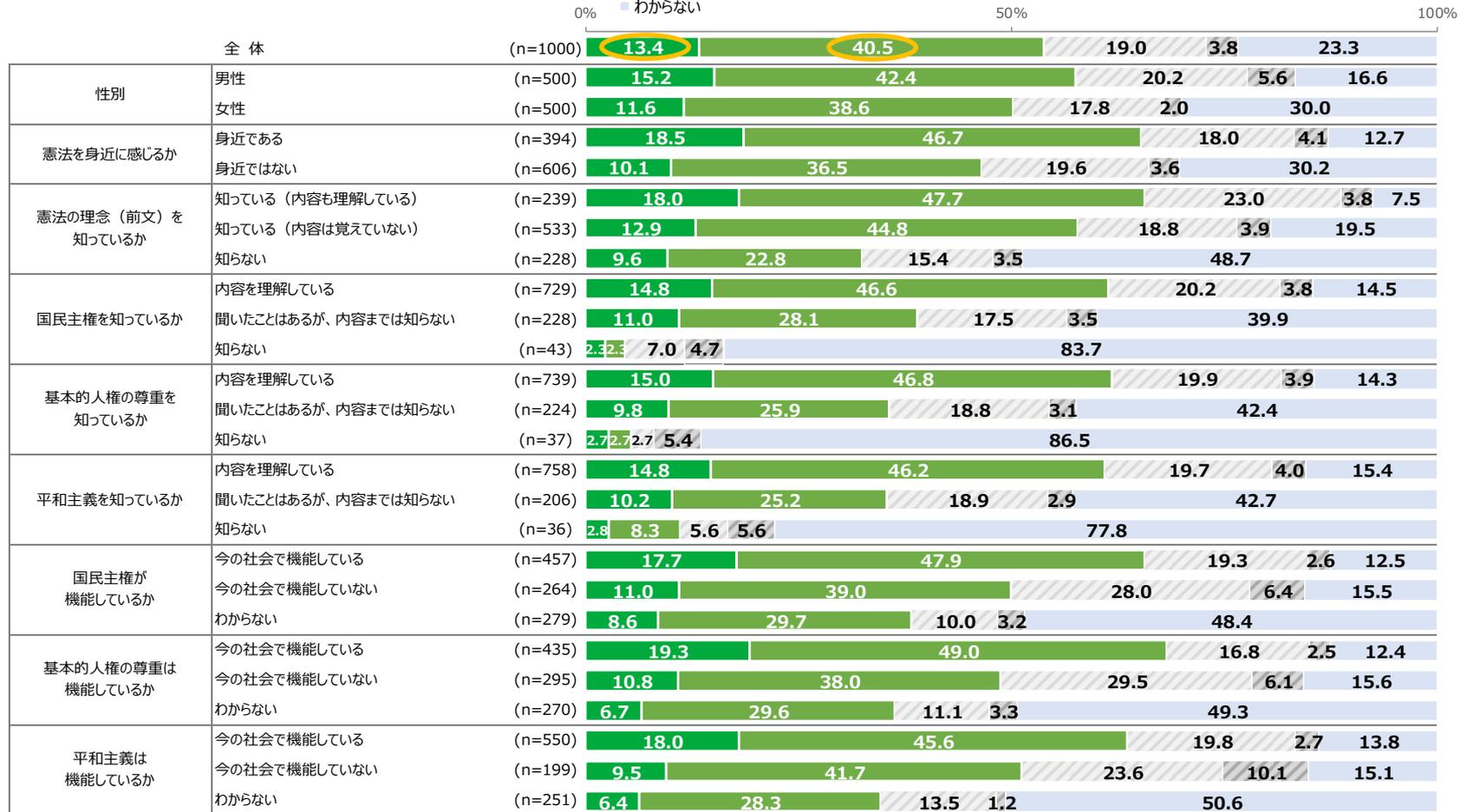
日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

憲法が73年間一度も改正されていないことについて

- 全体では、憲法が73年間一度も改正されていないことについて、今の日本社会に「合っている」は13.4%、「概ね合っている」は40.5%であり、合計すると53.9%となっている。

Q9 日本国憲法は、1946年に制定されてから73年間、一度も改正されていません。これについてあなたの思いにあてはまるものをお選びください。

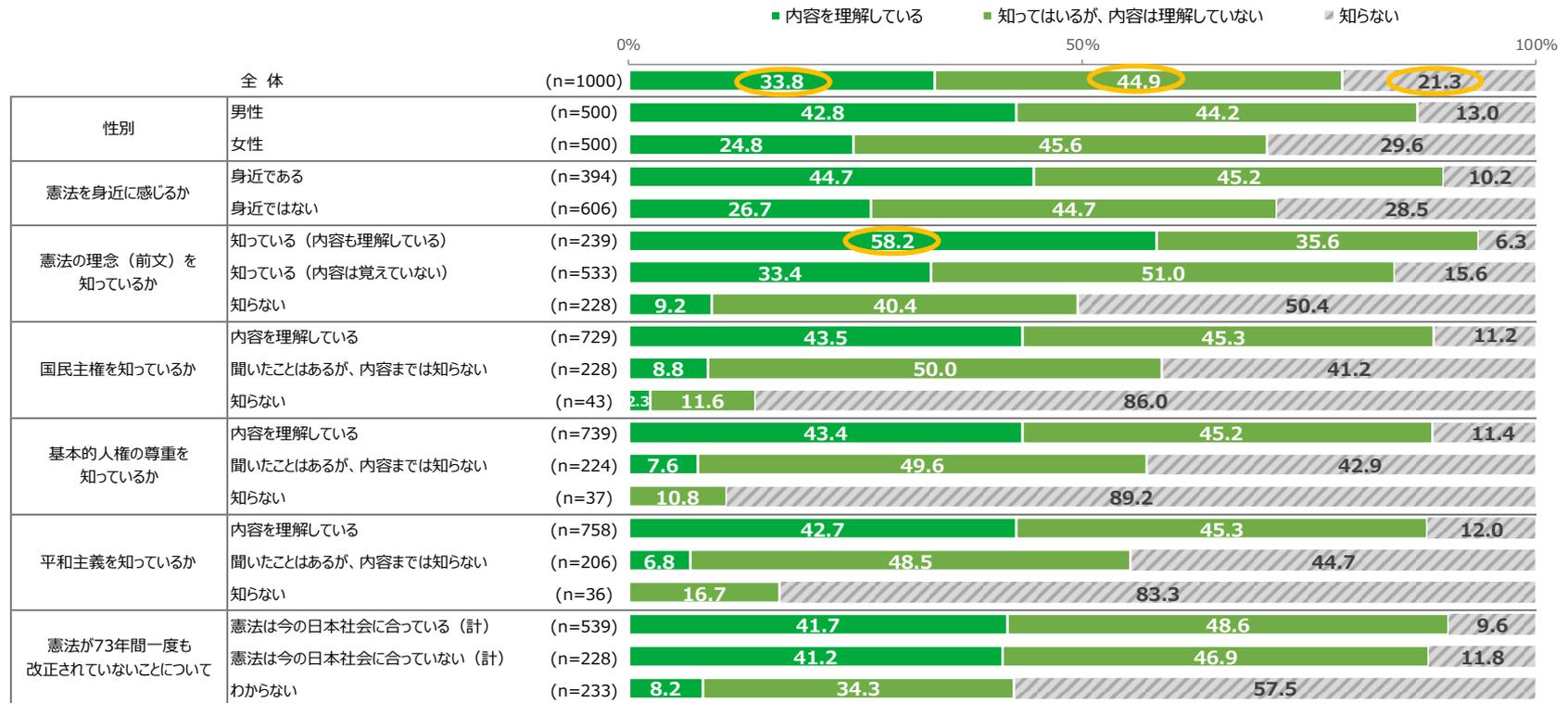
- 憲法は今の日本の社会に合っている
- 憲法は今の日本の社会に概ね合っている
- 憲法は今の日本の社会に合っていない面が多い
- 憲法は今の日本の社会に合っていない
- わからない



国会での憲法改正の議論を知っているか

- 全体では、国会での憲法改正の議論について、「内容を理解している」は33.8%、「知っているが、内容は理解していない」は44.9%となっている。「知らない」は21.3%である。
- 憲法の理念（前文）を「知っている（内容を理解している）」とする人では、憲法改正の議論を「知っている（内容を理解している）」の割合が58.2%と高い。

Q10 現在、国会では、憲法改正の議論がされていることを知っていますか。



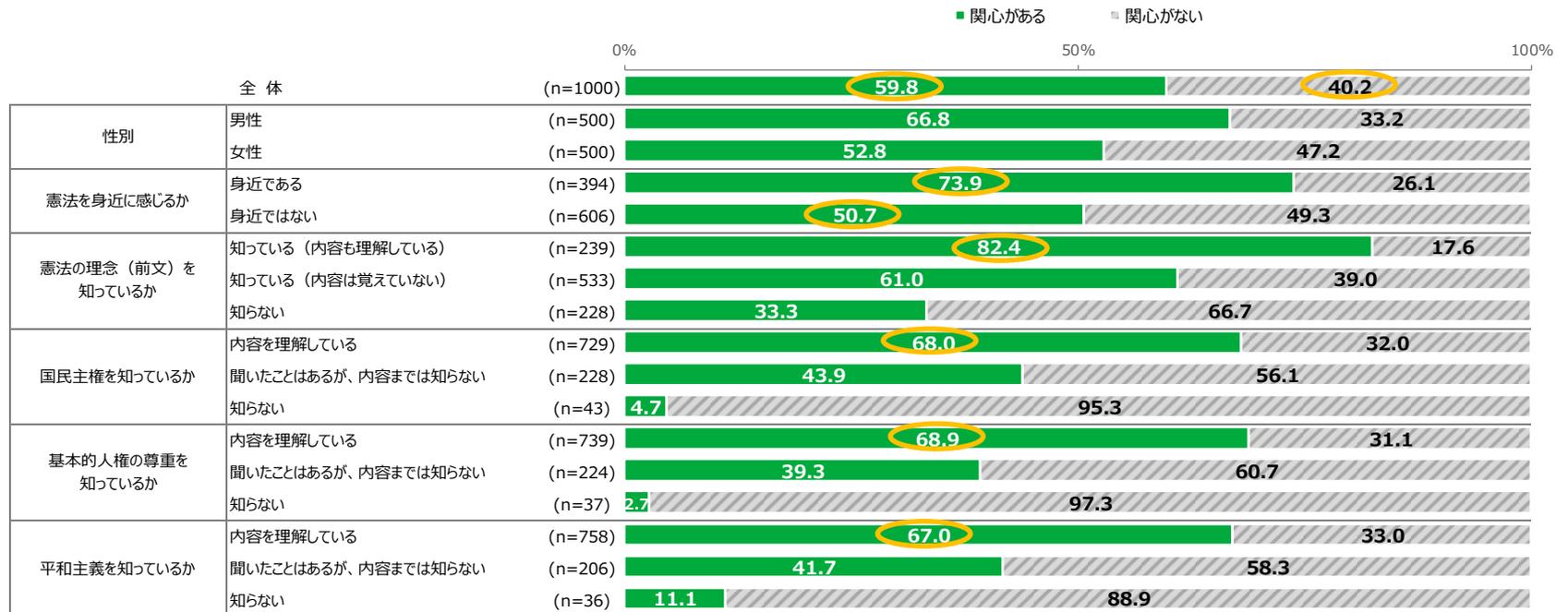
※Q9 憲法が73年間一度も改正されていないことについて

- 「憲法は今の日本社会に合っている（計）」 = 「合っている」 + 「概ね合っている」
- 「憲法は今の日本社会に合っていない（計）」 = 「合っていない面が多い」 + 「合っていない」

憲法改正に関心があるか

- 全体では、憲法改正に「関心がある」は59.8%、「関心がない」は40.2%となっている。
- 憲法を「身近である」と感じている人は憲法改正に「関心がある」が73.9%と全体に比べ高い。一方、「身近ではない」と感じている人は「関心がある」50.7%と全体に比べ低くなっている。
- また、憲法の理念（前文）および憲法の基本三原則それぞれの内容理解者は、全体に比べて「関心がある」とする割合が高い。

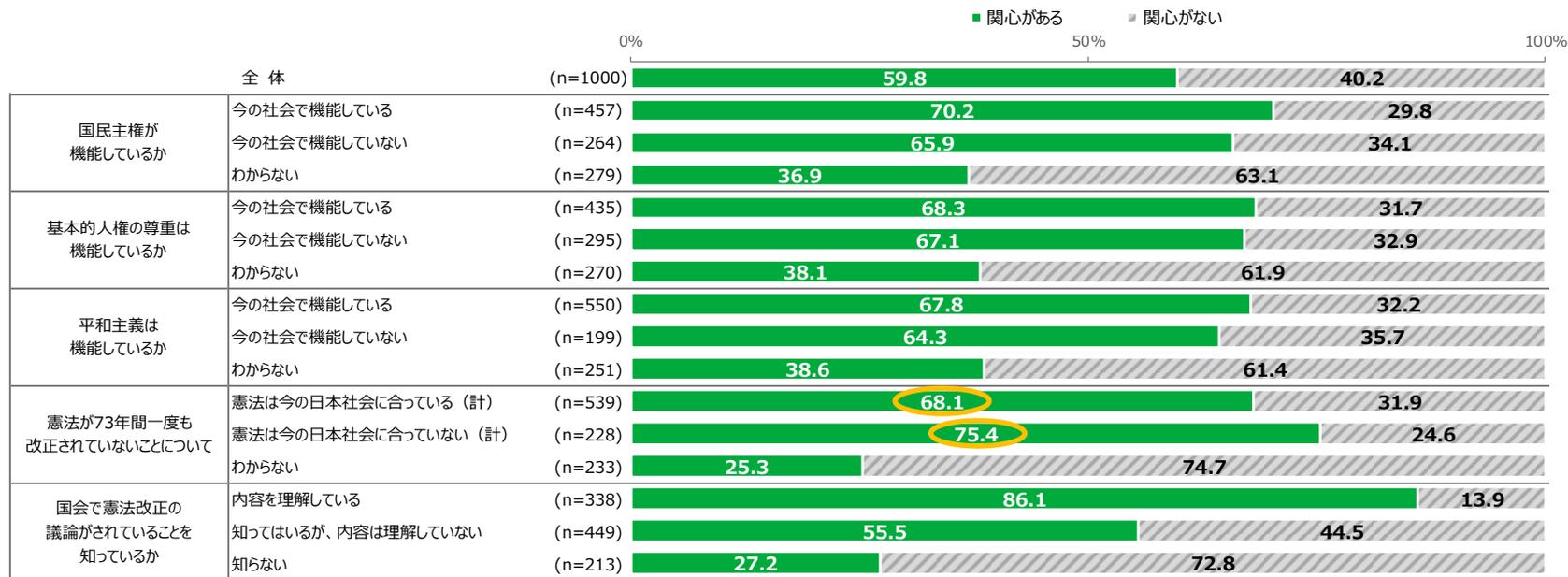
Q11 あなたは、憲法改正について関心がありますか。



憲法改正に関心があるか (続き)

- 憲法が73年間一度も改正されていないことについて、憲法は今の日本社会に「合っている（計）」と回答した人は憲法改正に「関心がある」は68.1%、「合っていない（計）」と回答した人では75.4%と、いずれも全体に比べて高い。また、憲法が今の社会に「合っていない（計）」とする人の方が、憲法改正への関心がやや高くなっている。

Q11 あなたは、憲法改正について関心がありますか。



※Q9 憲法が73年間一度も改正されていないことについて

- 「憲法は今の日本社会に合っている（計）」 = 「合っている」 + 「概ね合っている」
- 「憲法は今の日本社会に合っていない（計）」 = 「合っていない面が多い」 + 「合っていない」

憲法改正に関心があるか 理由

- 憲法改正に関心がある理由としては、「日本国憲法の三原則をしっかりと守りつつ、新たな時代に適した憲法をつくっていかねばならないから」など、時代に合った憲法への改正を望む声や、「憲法改正によって集団的自衛権が認められると、自衛隊の出動が考えられるため戦争勃発の危険が高まると思うから」など、自衛隊の位置づけに関する意見があげられている。
- 関心がない理由では「日常生活に影響があると感じないから」や「憲法を身近に感じる機会がほとんど無いから」など、ある意味「自身ごと」と感じられずに興味・関心が持てないことがうかがえる。また、「難しい内容だから取っ付き難い、わかりやすく説明して欲しい」のように、憲法改正が十分に理解できてないことがあげられている。

Q12 前問で憲法改正への関心について選んだ理由を教えてください。（ご自由にお書きください）

関心がある

憲法の改正に賛成

- 日本国憲法の三原則をしっかりと守りつつ、新たな時代に適した憲法をつくっていかねばならないから。（男性）
- さらに日本を成長させられるような憲法があると思う。（男性）
- 経済や文化、外国とのパワーバランス等が制定時と大きく異なっているためいつまでも改正しないのはおかしいから。（男性）
- 憲法9条はもはや形骸化しており、自衛隊という実力組織を持っている今の日本において、全ての軍事力を放棄するというのは不可能であるから。（男性）
- 今の時代に合わせた憲法をつくっていかねば、これからの日本を大きく変えることはあまりに無謀であり、これからの日本を考えた憲法にしてもらいたい。（男性）

憲法の改正に反対

- 憲法改正によって、集団的自衛権が認められると、自衛隊の出動が考えられるため、戦争勃発の危険が高まると思うから。（男性）
- 憲法9条という世界に誇るべき、日本の憲法を改定しようとしているのは、日本の平和主義という原則に反しているし、日本国民の安全は保障されなくなると思うから。（女性）
- 改正すると言っているのが第9条のとても大切なところなので、戦争が起こるようになってしまっているのではないかと、独裁になるのかと心配。（女性）

自分たちの生活に関係する

- 憲法改正は私たち国民に関わる大きな問題でありこの後の日本国の未来を左右することであるから。（男性）
- 憲法が変わると今までのルールが根本的に変わるため、自分たちの暮らしに直接影響を及ぼすため。（男性）

【憲法改正に関心があるか 理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

関心がない

自分たちの生活には関係がない

- 日常生活に影響があると感じないから。（女性）
- 憲法を身近に感じる機会がほとんど無いから。（女性）
- 自分にはあまり関係の無いことだと思ってしまっているから。（男性）
- 憲法があつて得をしたとか、損をしたとか邪魔だとかいうことは自分には起きた事がないから。（男性）
- 憲法が改正されても自身の生活に大きく影響を及ぼすとは考えられないから。（男性）
- 私たちの生活に深く関わらないことの方が多から。（女性）
- 改正しても生活に支障がほとんどない。（男性）
- そこまでテレビでも見かけたことがないので実感が湧いていない。（女性）

憲法の改正は難しい

- 難しい内容だから、取っ付き難い、わかりやすく説明して欲しい。（女性）
- 難しそう。もっと高校生や興味のない人に興味を持って貰えるように解説やわかりやすい説明が欲しい。（男性）
- 何をどう変えようとしているのか、変えたらどうなるのか、どうして反対する人が出てくるのかなどがニュースとかを見ていてもあまり理解できないから。（女性）

自分たちの意見が反映されない

- 自分の思いが反映されるわけじゃないから。（女性）
- 政治家だけで決めている感じがして関心を持つとうしても内容が入ってこない。（女性）
- 自分たちの意見があまり反映されない社会だから。（男性）
- 政府が勝手に進めている話だから。（男性）

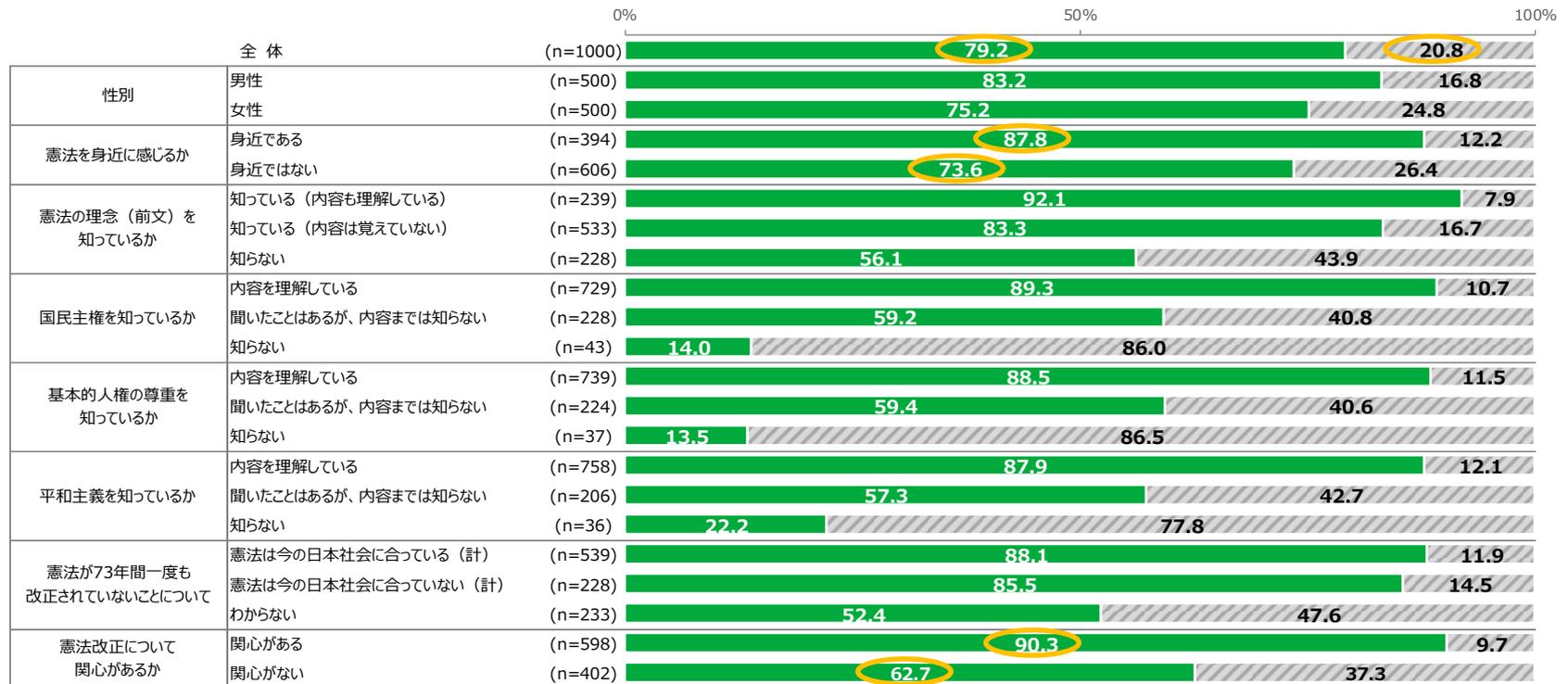
※自由回答は原文のまま記載

憲法改正に国民投票が必要なことを知っているか

- 全体では、憲法改正に国民投票が必要なことを「知っている」は79.2%、「知らない」は20.8%となっている。
- 憲法を「身近ではない」と感じている人は、憲法改正に国民投票が必要なことを「知っている」が73.6%で、「身近である」と感じている人に比べ低くなっている。
- また、憲法改正に「関心がある」人は、憲法改正に国民投票が必要なことを「知っている」が90.3%と全体に比べて高い。一方で、「関心がない」人では、憲法改正に国民投票が必要なことを「知っている」のは62.7%である。

Q13 あなたは、憲法を改正するには国民投票が必要なことを知っていますか。

■ 知っている ■ 知らない



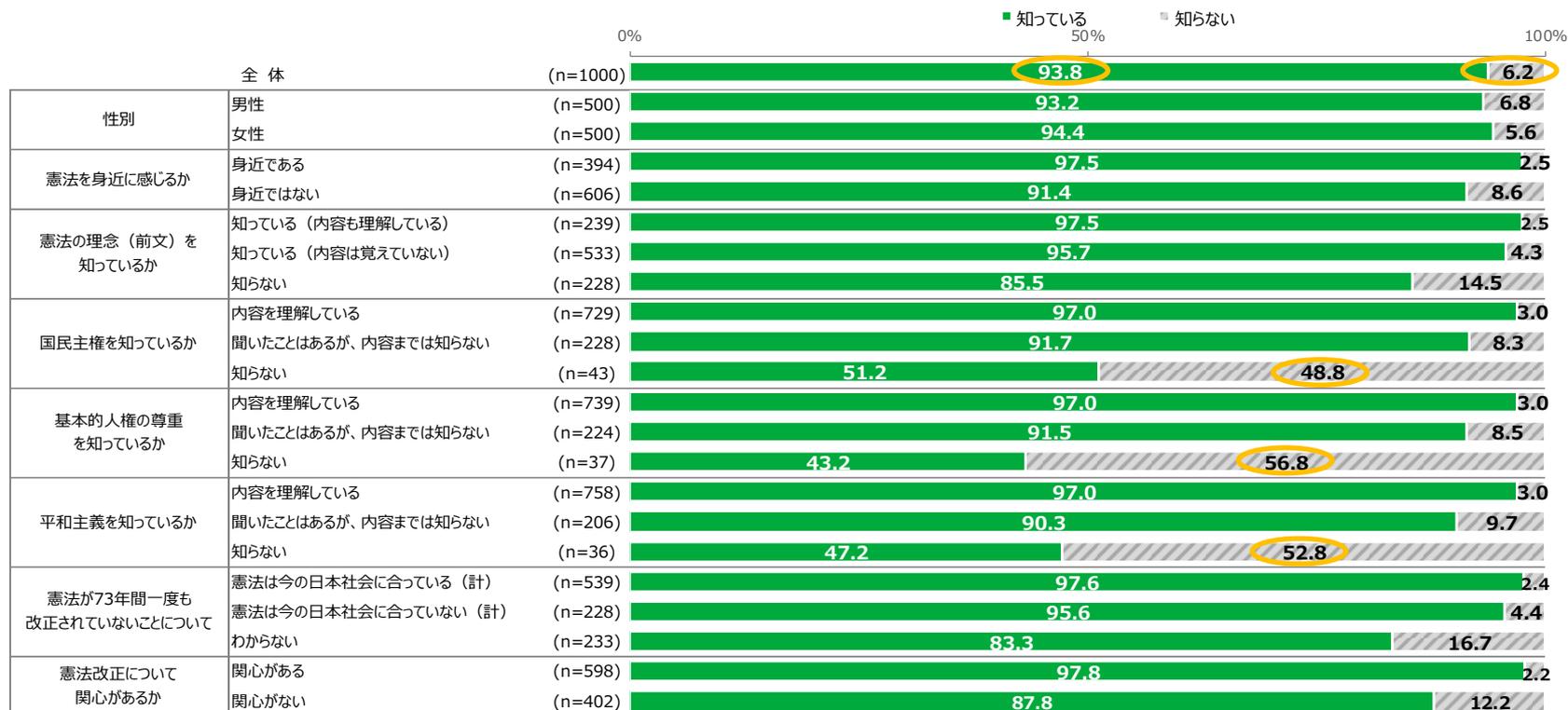
※Q9 憲法が73年間一度も改正されていないことについて

- 「憲法は今の日本社会に合っている(計)」 = 「合っている」 + 「概ね合っている」
- 「憲法は今の日本社会に合っていない(計)」 = 「合っていない面が多い」 + 「合っていない」

18歳から国民投票に参加できることを知っているか

- 全体では、18歳から国民投票に参加できることを「知っている」は93.8%、「知らない」は6.2%となっている。
- 憲法の基本三原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について「知らない」人では、18歳から国民投票に参加できることについても「知らない」との割合が半数前後を占めている。

Q14 あなたは、18歳から国民投票に参加できることを知っていますか。



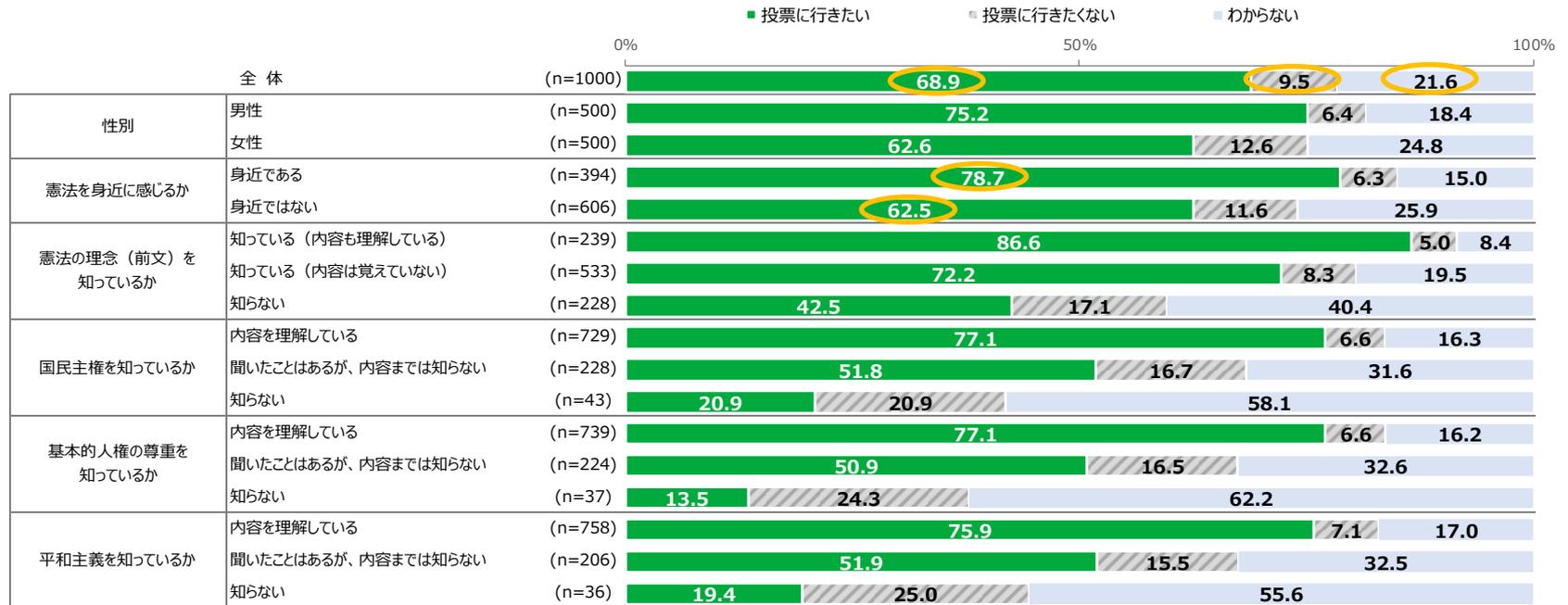
※Q9 憲法が73年間一度も改正されていないことについて

- 「憲法は今の日本社会に合っている(計)」 = 「合っている」 + 「概ね合っている」
- 「憲法は今の日本社会に合っていない(計)」 = 「合っていない面が多い」 + 「合っていない」

国民投票に行きたいか

- 全体では、国民投票が行われたら「投票に行きたい」とする人は68.9%、「投票に行きたくない」は9.5%、「わからない」は21.6%となっている。
- 憲法を「身近である」と感じている人は国民投票が行われたら「投票に行きたい」とする人が78.7%と全体に比べ高い。一方、「身近ではない」と感じている人は全体に比べ低いが、62.5%が国民投票が行われたら「投票に行きたい」と回答している。

Q15 あなたは、国民投票が行われたら、投票に行きたいと思いますか。



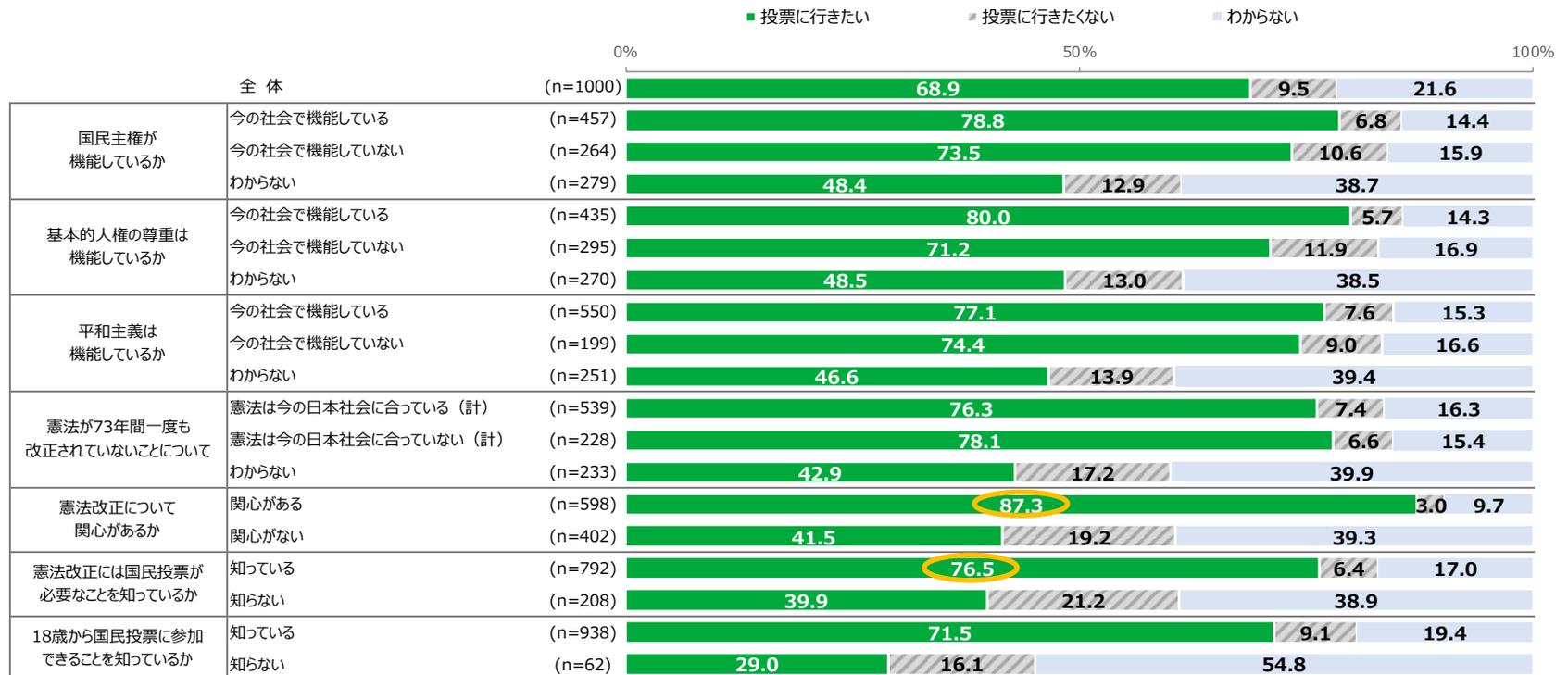
※Q9 憲法が73年間一度も改正されていないことについて

- 「憲法は今の日本社会に合っている(計)」 = 「合っている」 + 「概ね合っている」
- 「憲法は今の日本社会に合っていない(計)」 = 「合っていない面が多い」 + 「合っていない」

国民投票に行きたいか (続き)

- 憲法改正について「関心がある」人では国民投票が行われたら「投票に行きたい」は87.3%、また、憲法改正には国民投票が必要なことを「知っている」人では76.5%と、いずれも全体に比べ高い。

Q15 あなたは、国民投票が行われたら、投票に行きたいと思いますか。



※Q9 憲法が73年間一度も改正されていないことについて

- 「憲法は今の日本社会に合っている (計)」 = 「合っている」 + 「概ね合っている」
- 「憲法は今の日本社会に合っていない (計)」 = 「合っていない面が多い」 + 「合っていない」

国民投票に行きたいか 理由

- 国民投票に行きたい理由としては、「しっかりと自分の意思を国に伝えたいから」や「自分の意見を少しでも反映してもらいたいし、自分が住んでいる国のあり方は国民が決めるべきだと思うから」など、投票で意思表示をしたいとの思いが見られる。また、若者の政治離れを危惧する声があがる一方で、「これからの日本を作るということに自分自身も尽力することには興味があるし、何よりこれから社会を担っていくのは自分たち世代であるから」といった、若者としての自覚と責任がうかがえるものもあった。
- 国民投票に行きたくない理由としては、「投票所に行くのが面倒」との意見が散見されている。また、「自分の一票でどうこうならないから」や「世の中は変わらないと思うから」など、投票で意思表示することに懐疑的な姿勢が垣間見える。

Q16 前問で国民投票について選んだ理由を教えてください。（ご自由にお書きください）

投票に行きたい

自分の意見を反映させたい

- しっかりと自分の意思を国に伝えたいから。（女性）
- 自分の意見を少しでも反映してもらいたいし、自分が住んでいる国のあり方は国民が決めるべきだと思うから。（男性）
- 投票は自分の意見を主張する場であると考えしっかりと考えぬいた上で自分の意見を主張したいと思うため。（男性）
- たとえ自分一人の影響力が少なくても自分の意見が国に少しでも反映されてほしいから。（男性）
- 国民投票に行くことは権利だが、その権利を放棄したら自分の考えや意見は国に届かず、反映されないから。（女性）
- 憲法改正に関心を持ち、密接に関わっていることを決めるには1票でも、自分の意見を訴えるいい機会であると思うから。（男性）

若者の政治参加

- これからの日本を作るということに自分自身も尽力することには興味があるし、何よりこれから社会を担っていくのは自分たち世代であるから。（男性）
- 近年、若者の投票率の低下が問題になっており、若者のための政治が薄れている。政策は私たちの生活に大きな影響を与えるため、その参加が大事だと考えるため。（男性）
- 若い世代の投票数を増やして公正な国民投票にしたいから。また、自分の考えをきちんと表したい。（女性）

国民の義務

- 投票に行くことは国民の義務であり、私たち若い世代が、今の日本を変えていかなければならないから。（男性）
- 自国の最高法規の改訂を理解し検討するのは国民の義務と考えている。（男性）
- 国民としての義務だし憲法改正も行うべきだと思うから。（男性）

【国民投票に行きたいと思うか 理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

投票に行きたくない

投票に行くのが面倒

- 投票所に行くのがめんどくさい。（男性）
- めんどくさいし、よく理解できないまま投票するの間違いと思うから。（男性）
- めんどくさいし、自分1人が行ったところで何も変わらないから。（女性）
- わざわざ時間をとってまでは行きたくない（女性）
- 行くのが面倒だから。（男性）
- 乳児を抱えての投票が大変だから。（女性）
- めんどくさい、ネットでやりたい。（女性）
- インターネットで投票できるようにしてほしい。（女性）

投票しても何も変わらない

- 自分の一票でどうこうならないから。（女性）
- 世の中は変わらないと思うから。（女性）
- 投票に行っても行かなくても一緒のように思えるから。（男性）
- 行ったところで変わらないから。（男性）
- どうせ意見なんて通らない。（女性）
- どうしても自分の一票で変わると思わないから。（女性）
- 自分が行っても大して変わらないと思うから。（女性）

憲法改正がよくわからない

- 分からないものに投票しても意味を感じないから。（女性）
- 知識もないのに投票したくない。（男性）
- 決める権利があるのはいいが、選択するのが難しいから。（女性）

※自由回答は原文のまま記載